

アルプス

第116号
2022年4月発行
発行所 長野学習センター
発行責任者 大塚 勉

新任所長からの挨拶	1
退任所長からの挨拶	2
新任・退任客員教員からの挨拶	3
卒業生からのメッセージ	6
公開講演会	7
2022年度第1学期面接授業の予定	8
「同窓会長野」より	9
客員教員による学習相談	10
今後の主なスケジュール	10
「学士」取得を目指す方へ	11
Web学習システム・通信指導について	11
単位認定試験について	11
各種証明書の発行について	14
学習センターの図書業務の取り扱いについて	15
システムWAKABA初期パスワードの変更について	15
教員・職員紹介	16
コロナ感染症に伴う長野学習センターの利用について	16

新任所長からの挨拶

就任のご挨拶

長野学習センター所長 大塚 勉

このたび、前任者の村上好成先生の後任として放送大学長野学習センターの所長を拝命しました大塚勉と申します。

令和2年度まで、信州大学の全学教育機構などで教育と研究に携わってきました。専門は、地球に関する科学分野の一つ「地質学」です。とくに構造地質学という分野で、プレートの沈み込みによって作られる地質体の研究、さらに活断層の研究を行ってきました。野外を歩いて地質のでき方を考えるというのが、私の基本的な研究スタイルです。この山を歩いて調べる調査は今も続けています。とくに最近では、活断層が多い信州にあって、地震災害や土砂災害に対する知識の普及に努めています。

教育面では、学生が学ぶ専門領域を超えて広い範囲の知識を高める共通教育に携わってきました。学生は、ともすると自分が専攻する分野の勉強だけで終わってしまう傾向があります。将来さまざまな社会現象に接するとき、またいろいろな場面で判断が求められるとき、多様な知識の引き出しが備わっていると、深い理解のもと、より良い判断をすることに繋がります。何よりも、学びの結果、過去とは異なる自分に気がついた時に喜びを感じることでしょう。

放送大学では、これまでの教育経験を役立たせてゆきたいと考えています。

ここで放送大学長野学習センターの歴史を紐解いてみましょう。その前身である「諏訪地区学習セ

ンター」が地元の熱い要望をバックに立ち上げられ、254名の学生を受け入れてスタートしたのが昭和62年のことでした。資料によると、このタイミングは、関東地区以外の各地域の学習センターでは最も早い時期に当たり、長野県の学習意欲がいかに高いかを物語っています。

その後、毎年コンスタントに多くの学生を受け入れるとともに、信州大学、長野看護大学、松本大学、清泉女学院大学、佐久大学、公立諏訪東京理科大学との単位互換を実現してきました。その間、長野市との連携のもとに「長野ランチ」も設置されました。現在（令和3年度第1学期）では、教養学部と大学院を合わせて980名を超える学生が学んでいます。

学習する際に利用する媒体も、FMラジオ、テレビ（地上波からBSデジタル）、ビデオ、インターネット配信と、刻々と時代に合わせて進化してきました。もちろん、従来型の面接授業も効果的に運用されています。時の話題を取り上げる講演会も毎年行われるようになりました。

現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延で、教育現場ではいろいろ不自由を強いられています。このような状況下でも、インターネット配信が実現していた放送大学の授業は耐性を発揮したのではないかと考えています。

このような流れを受け継いで、新たに皆様に学習の機会を提供することになります。放送大学には、スキルアップを目指すリカレント教育や、教養を高め知的生活を豊かにするなど、いろいろな動機で受講していらっしゃると思います。これまでの経験を生かして、皆さんの学習に対する要望をくみ取り、専門教育と教養教育の両面で学びのお手伝いをさせていただきます。

退 任 所 長 か ら の 挨 拶

退 任 の ご 挨 拶

村上 好成

長野学習センター所長を勤めさせて頂いてから5年経ち、この3月末に退任を迎えました。ご挨拶というより、この5年間に体感した事を書きます。

私は前任の大学で33年間主に1年生の教育に携わってきて放送大学に参りましたが、実は放送大学がどのような教育体系になっているのか全然知りませんでした、TVでの授業を観て知識を得る位しか。確かにそうなのですが、入学試験は無く、学ぶ科目は自分で選び、卒業しようが、しまいが自由です。そう「自由」が放送大学の根底なんだな、と段々知ようになってきますと「凄い制度と優しさが日本にはあるんだ！」ということに気付きました。兎に角必要なのは「新しい、未知の知識を得たい。」という前向きな姿勢です。一般には学校を卒業すると、自分の仕事関係や家庭等、自分の周りの環境に制限される知識、技術等の習得に終始します。勿論それはそれで重要で、この社会を支える根本なのですが、私の世代というか生きてきた周りの環境はそれだけで、それに何の疑問も感じませんでした。ところが放送大学に奉職して面接授業を担当させて頂き、若い方から私よりかなり年配の方が学生として私の講義を熱心に聴いて頂くのを目の当たりにした時、「何なんだ、これは?!」と圧倒されました。それまでは20歳前後の学生で「科目指定されているから、しゃあなしに聴いている。」的目付きの学生が一部居ましたが、それらと全然違うんです。（勿論その目付きを「この先生の講義は自分の人生に役に立つから真剣に聴かなくては!」的目付きに変えさせることができるか否かが教師の力量なのですが。）

放送大学の学生さん達は「金と時間を掛けて聴きに來てるんだから、手を抜いたら承知せえへんで!」

的目付きなんです。きつい目付きではなく、優しいが真剣な目付きなんです。本当に1回目の授業からびっくりしました。その時に最近言われている「生涯学習」という言葉が初めて実感できました。勿論、何らかの事情で学士、修士を取得できなかった方々の為の放送大学で、それは価値のある存在です。最近心理学関係等の各種資格の取得の場としての存在価値を高めてきています。

これらを含めての「生涯学習」の中心地に居るんだからと、さらに充実した企画を自分なりに考えていました。面接授業受講でわざわざ県内外各地から学習センターに来られるんだから、もっとゼミナールの要素を加えて簡単な実験を各自実施し、最先端の化学を実感して頂きたい、とか。私も高齢者になって、人と会話する場が激減することを実感していますので、ゼミナールは他の学生との会話の場に相応しい事に気付きました。前任の大学で学生の「人間力」を高める為にゼミナールを推進した事と期せずして同じような結論に至りました。

「よお～し、残り在職の2年間頑張るぞ!」と気を引き締めた途端の新型コロナウイルス感染問題発生です・・・ 全く異なった世界が突然訪れ、何もできなくなり、それはどなたも同じでしょうから敢えて書きません。しかし「自主的に学ぼう!」という気持ちだけは捨てないようにしましょう、お互いに!

新 任 ・ 退 任 客 員 教 員 か ら の 挨 拶

就 任 の ご 挨 拶

「原子と分子の世界を探る」

客員教員 勝木 明夫

令和4年度から放送大学長野学習センターの客員教員を務めさせていただきます勝木です。現在、信州大学全学教育機構で化学を担当しています。全学教育機構は、信州大学に入学した大学1年次生全員に向けて授業を開講しているところです。今回、放送大学でみなさんに出会うことに新たな期待が高まります。

専門としている化学について、大きく分けて、ものをつくる分野とものの変化を観測する分野に分けられます。自分は、どちらかといえばものの変化を観測する分野の方になりますが、ものをつくることも好きですから、新しいものをつくって、その性質や変化を観測することも多いです。

また、化学は目に見えない原子や分子の世界を探る学問です。原子や分子からの情報をもとに目に見えない原子や分子の構造、性質を推測します。そのような目に見えない世界は、日常の世界では起こりえない不思議なこと、面白いことが起こる世界です。

光は、そのような目に見えない原子や分子の世界に直接、働きかける性質を持っています。そして、私たちに光の吸収あるいは発光の結果として、原子や分子の色を示してくれます。原子と分子の世界を探る化学者(あるいは科学者)は、原子や分子からの光を観測します。それは、原子や分子からの情報(スペクトルといいます)になります。スペクトルは、手紙にたとえられることがあります。その手紙は、日常の言葉で書かれていないので、行間から文意を読み取るように、原子や分子からの情報を読み取ることになります。例えば、夏の風物詩である花火の色は、花火に含まれている金属固有の色を示します。花火のスペクトルから花火に含まれている金属を推測することができます。

このような目に見えない原子と分子の世界をできるだけわかりやすい形で示すことで、少しでも化学の世界にふれるきっかけになれば幸いです。

就 任 の ご 挨拶

「野外教育ってナニ？」

客員教員 古屋 顯一

信州大学経法学部の古屋と申します。

私は、野外教育というものが専門になります。いわゆるアウトドア・スポーツと言われるものです。もちろん、フィールドは自然です。経法学部に所属していて何で野外教育が専門なんだと疑問を抱く方々がいらっしゃると思いますが、紙面の関係上、そのことは省きます。講義は、経法の専門と共通教育の一般教養を担当しています。

一般教養では、「アウトドアの達人」、「レジャースポーツ」、「サバイバル活動」、「スクーバダイビング」、「スノースポーツ」などのたくさんの野外活動を教えています。例えば、サバイバル活動では、新潟県の佐渡島にて4泊5日、タンパク質はすべて海から調達するというルールでサバイバル活動ごっこをしています。スクーバダイビングでは、サイパンで実施し、海外旅行もでき、ダイビングの資格も取れ、かつ単位も取得できるといったお得な授業を展開しています。また、経法学部では、レジャー産業などを教えています。

一般の人からみれば、遊びが専門だといっても過言ではないかと思っています。よく近所の仲間のおじさんたちからは、「古屋さんはいいねえ。いつも遊んでいて・・・。」とよく言われるんですね。でも遊びを教えるというのは結構辛いものです。だって楽しみを人に伝えなければならないのですから・・・。いつからかはよく覚えておりませんが、楽しいことは自分の中に留めておいた方が良いのかなと思うようになってきました。

そんな私が、この度、放送大学で教鞭を執る機会をいただくこととなりました。学生諸君とフィールドワークに出る機会はありませんが、楽しく講義を展開していければと願っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

退 任 の ご 挨拶

“温かい手からの贈り物”と“感謝”

後藤 泰一

5年前、諏訪市文化センター脇に建てられたプレハブの仮校舎に初出勤、舎内の雰囲気は温もりが満ちていて厳冬期の薄壁も何のその、2年後に現学習センターへ移転した。最後の2年はコロナ禍の深刻な状況が続いたが、事務方の懸命な努力のお陰で無事退任を迎えることができた。面接授業も公開講演会も研修旅行もどれも楽しかった。感謝の気持ちでいっぱいである。放送大学長野学習センター客員教授として論文4編を執筆し、そのうち2編は公開講演会で披瀝させて頂いたが、幾ばくかの“お返し”になっただろうか。

そういえば、私の民法学者として初の論文が贈与と感謝に関する「忘恩行為にもとづく贈与の撤回-ドイツ法を通して-」（『民商法雑誌』91巻6号所収・有斐閣）だった。その切っ掛けとなったのがドイツの偉大な法学者イエリング『法における目的』の一文である。

“……die Gabe der kalten Hand kann eiskalt sein, sie ist eine Gabe aus dem Beutel des gesetzlichen Erben, warm ist nur die Gabe der warmen Hand.”「……冷たい手からの贈り物は氷のように冷たい」、それ（遺贈Legate：遺言による贈与）は、（自分のバッグからの贈り物ではなく）

「法定相続人の懐からの贈り物に過ぎない、温かい手からの贈り物のみが温かいのだ」(Rudolf von Jhering, Der Zweck im Recht, Leipzig, Breitkopf & Härtel, 1877, S. 278. 興味ある方は、拙稿「法解釈と三段論法」(『信州大学法学論集』18号136頁以下)をどうぞ)。

この機会に、私を囲んでくれた家族にも感謝したい。私の人生は妻の大きな支えに依っている。息子と娘は明日への活力源になってくれた。私が学者の道を選択できたのは父母や弟(長男の私に代わり実家を継いでくれた)のお陰である。戦後復興期に私と弟妹が生まれ事ある毎に共に悩んでくれた。父は3年間のシベリア抑留生活で2度命拾いし、母は勤労令による動員先で大空襲に遭い九死に一生を得た。父母も弟も他界したが、今は孫達が未来の夢を届けてくれる。まさに私の人生は“温かい手からの贈り物”なのだ。

長野学習センターの温もりある雰囲気は貴重である——胸を張って頂きたい。

最後に、教職員・学生諸氏のご健勝ご健闘を祈念しつつ静かに筆を擱くことにしよう。

ご卒業おめでとうございます

2021年度2学期、全国で学位授与者は学部4,242名、大学院修士課程226名、大学院博士後期課程8名併せて4,476名の方がいらっしゃいます。長野学習センターからは45名の卒業生等を送り出すことができました。

長野学習センター所属の卒業生等は下記の皆さんです。皆様のこれまでのご努力に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。

2021年度2学期 教養学部をご卒業された44名の方々の内訳は、下記の通りです。

(コース名)	(コース名)
(生活と福祉) ・・・・ 13名	(人間と文化) ・・・・ 10名
(心理と教育) ・・・・ 11名	(情 報) ・・・・ 2名
(社会と産業) ・・・・ 4名	(自然と環境) ・・・・ 4名
計・・・44名	

2021年度2学期 大学院修士課程をご修了された1名の方の内訳は、下記の通りです。

(プログラム名)
(人間発達科学) ・・・・ 1名

長野学習センター所長表彰

2021年度2学期の卒業生のうち、所長表彰「長野学習センター所長表彰」に該当された方は、次の方でした。おめでとうございます。

学生の皆様も、是非所長表彰を目指して頑張ってくださいと思います。

上野 皓也	長野学習センター所長特別表彰
堀川 渡	//
久保田修治	//

卒業生からのメッセージ

表 題 「楽しく学ぶ」

(敬称略)

コース 生活と福祉コース

小林 千夏

冬の厳しい寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさが感じられ、いよいよ春めいてまいりました。今学期卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様それぞれの年月をこの放送大学でお過ごしになられたかと思いますが、いかがでしたでしょうか。

私は大学の資格を取ることを目的に、看護師の専門学校からの編入という形で入学しました。学生時代に学んだことを忘れていたものの再学習はもちろん、新しい学びも多く、授業や課題、テストを通じて楽しく学ぶことができました。臨床を経験したことからこそわかる重要性が学びにあり、仕事に活かすことができとても充実した日々を過ごせました。時間や体力的にきついこともありましたが、働いてからまた学びなおして良かったと思っています。

最後になりましたが、放送大学の益々のご発展をお祈りし、ご挨拶に代えさせていただきます。2年間ありがとうございました。

表 題 「学べる事に感謝して」

(敬称略)

コース 人間と文化コース

上野 皓也

70歳で仕事を離れ、これから何をして過ごせば良いのか思案をしていたとき、ふと手にした冊子。それは既に放送大学で学んでいた妻に送られてきた「授業科目案内」でした。何気なくページをめくってみると、「人間と文化」コースに興味のある科目が眼に入り、入学を決意したのが2014年の春のことでした。以来8年が過ぎ2022年春、卒業出来ることになりました。

私の好きな「青春」という詩の一節につぎのように詠われています。

「志と勇気を失えば たとえ20歳であろうとも人は老けこむ 頭を高くかけ 希望の波を

目標を見失わない限り 80歳であろうとも 人は青春の眞っ只中にいるのだと」 と学ぶことに年齢は関係ないと思っています。

これからも、元気に「学び」続けて行こうと思っています。

表 題 「卒業に当たっての回想」

(敬称略)

コース 情報コース

堀川 渡

あれから25年経った。科目履修生として入学してからの年月である。当初は卒業に必要な124単位の修得は、到底無理難題であると感じていた。しかし、心折れることなく継続は力なりを信念に、単位を修得を積み重ねた結果、17年後には待望の学位記を手にすることができ、大きな自信に繋がった。「為せば成る

為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」の先人の教えの通り何事も中途半端が一番いけない。割が合わない。全力投球することである。そしてこの度5コース目の「情報」を卒業することができた。あと1コース(「社会と産業」)で全コース突破となる。教材にない単語・用語にも数多く出くわして閉口したことがあったが、そこは現在では、PCで検索して理解を広く深めることができ、充実した学生生活を送ることができたと、自負しております。

表 題 「Zoomでも充実した研究生生活」

(敬称略)

プログラム 人間発達科学プログラム

小口 かおり

心理学の研究を行うことを目的に、修士課程に進みました。大学時代は心理が専門でなかった私は、研究の進め方も、文献の読み方もほぼわからないまま入学してしまいました。ゼミも全てzoomで不安もありましたが、毎月のゼミで研究指導責任者の森先生を始め、ゼミの皆さんから研究についてアドバイスをいただき、なんとか研究を進めることができました。仕事を続けながらの修士生活は大変でした。特に、取り組んできた研究の筋を通して文字にしていく修論執筆には、四苦八苦してくじけそうになりました。そんなときもゼミの仲間の励ましに支えられました。

長野学習センターでは、文献複写等で大変お世話になりました。諏訪にいながらにして、国内のみならず海外の論文まで手に入れられる環境は、私の研究生生活を大きく支えていただきました。心より感謝申し上げます。

公開講演会 (LCV収録DVDより)



2022年1月29日(土)実施予定の公開講演会は、長野県のまん延防止等重点措置の実施に伴い会場での講演会は中止となり、(株)LCVによりビデオ収録され、同テレビ放送では2月中にテレビ番組で紹介されました。なお、同番組をご覧になりたい方がございましたら、当学習センターまでお越しの上、図書・視聴室でご視聴ください。(DVDの貸出しはいたしておりません。)



2022年(令和4年)度 第1学期面接授業日程表及び追加登録締切日

学期	科目区分	ナンバリング	科目コード	クラス	科目名	講師		定員	開講日	追加登録締め切り	開講場所
1 学 期	専門科目: 心理と教育	320	2590166	K	心理学実験1	松本 昇	信州大学准教授	25	4/16・17	無し	学習室
	専門科目: 生活と福祉	320	2596644	K	現代日本の 家族政策	下夷 美幸	放送大学教授	20	4/23・24	4月22日	学習室
	基盤科目	110	2596750	K	伝わるレポート を書く	【閉講】 加藤 善子	信州大学教授	15	5/14・15	5月7日	講義室
	専門科目: 人間と文化	320	2596849	K	大乘仏教の世界	護山 真也	信州大学教授	20	5/14・15	5月7日	学習室
	専門科目: 心理と教育	320	2590484	K	心理学実験3	金高 茂昭	放送大学長野学習 センター非常勤講師	25	5/21・22	5月14日	学習室
	専門科目: 社会と産業	320	2596822	K	ワインの科学	岸本 宗和	山梨大学准教授	20	5/28・29	5月21日	学習室
	導入科目: 情報	230	2596784	K	エクセルで学ぶ 統計学入門	中村 寛志	信州大学名誉教授	15	6/4・5	5月28日	講義室
	専門科目: 自然と環境	320	2596865	K	花の多様性と進化	菅原 敬	国立科学博物館・植 物研究部客員研究員	20	6/4・5	5月28日	学習室
	導入科目: 自然と環境	210	2596792	K	日常生活の中の わかり易い生物学	高田 啓介	放送大学長野学習 センター客員准教授	15	6/11・12	6月4日	講義室
	専門科目: 心理と教育	320	2590182	K	心理学実験2	松本 昇	信州大学准教授	25	6/11・12	6月4日	学習室
	導入科目: 自然と環境	210	2596806	K	環境からみた 地球の歴史	大塚 勉	信州大学特任教授・ 放送大学長野学習 センター客員教授	20	6/18・19	6月11日	学習室
	専門科目: 情報	320	2596857	K	ネットワークの 基礎知識	葉田 善章	放送大学准教授	15	6/25・26	6月18日	講義室
	導入科目: 自然と環境	210	2596814	K	基礎化学入門	勝木 明夫	信州大学教授	20	6/25・26	6月18日	学習室
	専門科目: 社会と産業	320	2596830	K	地球温暖化に 関する最近の情報	柳町 晴美	放送大学長野学習 センター客員教授	20	7/2・3	6月25日	学習室
	導入科目: 人間と文化	220	2596776	K	主体の成立	本郷 朝香	立教大学非常勤講師	15	7/9・10	7月2日	講義室
	専門科目: 心理と教育	320	2590212	K	心理検査法 基礎実習	金高 茂昭	放送大学長野学習 センター非常勤講師	25	7/9・10	7月2日	学習室
	専門科目: 心理と教育	320	2596652	K	心理学概論	藤田 勉	放送大学長野学習 センター非常勤講師	15	7/30・31	7月17日	講義室
	基盤科目	110	2596768	K	モダンとは何かー 社会文化的視点	坂井 素思	放送大学特任教授	20	7/30・31	7月17日	学習室

※4月16日(土) 12:00～ 空席状況公表「システムWAKABA」

※4月21日(木) 10:00～ 追加登録受付開始

受付初日10:00までに来所の方を対象に抽選、それ以降先着順

※4月21日(木) 15:00～ リアルタイムで空席状況確認「システムWAKABA」

※HP等で確認のうえ、お申込みください

※手続きは窓口、又は郵送(窓口優先)

※お申込は釣銭のないようお願いします

※追加登録のお申込は長野県在住者の方に限ります。

2022年4月

在学生の皆様へ

放送大学同窓会長野
会長 山田 美智子

新学期を迎え、学生の皆さんはそれぞれ目標に向かって鋭意努力されている事と存じます。また、この度入学された皆様、入学おめでとうございます。同窓会員一同心よりお祝い申し上げます。放送大学同窓会長野は、1996年（H8年）設立、「生涯学習の理想の実現を目指し、会員相互の親睦と会員相互の隆盛発展を図るとともに、放送大学に協力し母校の隆盛発展を図る」を目的に活動しています。

当会の主な活動には、野外研修会、長野学習センターと共催の「公開講演会・体験発表会」、入学生学習相談会、会報の発行などがあります。

今回は、長野学習センターと共催で行う公開講演会・体験発表会について紹介します。

★★

長野学習センターと共催で行う公開講演会・体験発表会では同窓会は体験発表会を担当します。同窓会の発表は、会員の学習体験、大学で学んだ知識の活用事例、仕事などで必要となった知識の習得、会員の地域貢献事例などを発表します。

新型コロナウイルスの感染防止のため、昨年と今年は中止となり開催できませんでした。最近の発表を紹介します。

◎2018年2月、「オープンキャンパス」として、特別講義番組上映（諏訪市・放送大学共同制作）、公開講演会、活動報告を実施しました。同窓会は、活動報告：「倍返し！地域おこし活動」で会員が居住する町における活動を紹介。（右の写真はその一つです。）



米俵マラソン

◎2020年2月、公開講演会と体験発表会を開催、同窓会員の体験発表は「放送大学と私」、仕事の関係で学習の必要を感じて放送大学に入学、コースを変えて学習を継続していることを発表。

同窓会長野は、このような体験発表・活動報告により、学生の方々の学習意欲の向上に寄与することを期待しております。

同窓会の活動は、年2回発行する会報で会員に連絡します。活動予定の周知、活動報告、会員からのお便り等を掲載して情報伝達の重要なツールになっています。会報は学習センターにも配置して頂きますので興味のある方はどうぞお取りください。

★★

同窓会では放送大学オリジナルバッジを取り扱っています。

入学・卒業記念にどうぞ



オリジナルバッジ・まなびーピンバッジ
(2個セット：1,000円)
申込は山田まで (Tel：0266-28-3776)

卒業されましたら、同窓会にご入会下さい。

客員教員による学習相談について

長野学習センターでは、所長のほか4名の客員教員により、随時学習相談を行っています。

学習方法、修学上の疑問、卒業研究についての相談など、お気軽にご相談ください。先生方の在席の予定は、毎月放送大学長野学習センター・ホームページや掲示板でお知らせします。学習相談をご希望の方は、在席日時をご確認のうえ事務室へご連絡ください。

	氏 名	専 門 分 野	相 談 日	現 職
センター所長	大塚 勉	地学	火～土曜日	信州大学名誉教授
客 員 教 員	高田 啓介	生物学	月3回、火曜日	前信州大学准教授
客 員 教 員	柳町 晴美	地理学	月3回、木曜日	信州大学名誉教授
客 員 教 員	勝木 明夫	物理化学	月3回、日曜日	信州大学教授
客 員 教 員	古屋 顯一	スポーツ科学	月3回、水曜日	信州大学教授

今後の主なスケジュール

4月16日(土) 面接授業空席状況発表

(12時現在の空席状況発表「放送大学ホームページ」)

4月21日(木) 面接授業科目追加登録受付開始 10:00～

(15時～リアルタイムで空席状況の確認「システムWAKABA」)

(追加登録締切日：原則として、開講日の一週間前、一部例外あり。詳細は時間割表参照)

4月29日(金)～5月 5日(木) 閉所(祝日及び臨時閉所)

5月 9日(月)～5月31日(火) 17:00 2022年度第1学期通信指導提出受付(Web)

5月16日(月)～5月31日(火) 必着 2022年度第1学期通信指導提出受付(郵送)

6月17日(金)～6月18日(土) Web単位認定試験操作体験会(詳細は13P参照)

7月15日(金)～7月26日(火) Web単位認定試験(学部・大学院)

7月27日(水)～7月28日(木) 臨時閉所

8月11日(木)～8月16日(火) 閉所(祝日及び臨時閉所)

8月15日(月)～8月31日(水) 2022年度第2学期科目登録申請期間(システムWAKABA)

8月15日(月)～8月30日(火) 2022年度第2学期科目登録申請期間(郵送必着)

9月 3日(土)～9月 4日(日) 臨時閉所

※日程等については、原稿作成時のものです。新型コロナウイルス感染症等の拡大等によって、変更となる場合があります。最新の情報確認にご留意願います。

* 学位授与機構が授与する「学士」取得を目指す方へ *

学位授与機構の学位授与制度は、短期大学・高等専門学校を卒業された方など、所定の「基礎資格を有する方」が、放送大学などで一定の学修を積み上げた場合、大学評価・学位授与機構の行う審査に合格することによって「学士」の学位取得ができる制度です。申請時期は4月期・10月期の年2回です。

61の「専攻の区分」に応じた“28分野の学士”があり、合格者には、「学士（専攻分野の名称）」が授与されます。

●学位授与制度に関するお問合せ先は、下記のとおりです。

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

☎ 042-307-1550 ホームページ <https://www.niad.ac.jp/>

* Web学習システム・通信指導について *

一部の科目を除き、インターネット上で通信指導問題の提出・開設の閲覧ができる『Web通信指導』が利用可能です。（学部学生生活の葉及び大学院学生生活の葉参照）。『Web通信指導』で通信指導問題を提出した場合は郵送による提出は不要です。対象科目、受講方法等についてはキャンパス・ネットワーク・ホームページを参照してください。郵送の場合と同様に提出期間が決められていますので、注意してください。通信指導の添削結果により、単位認定試験の受験資格が得られます。

* 単位認定試験について *

2022年度の単位認定試験は、今年度からWeb受験方式（一部科目*については郵送受験方式）で実施となります。第1学期の実施方法や試験日程は、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。その他実施の詳細については、2022年5月中旬頃、郵便物及びホームページ等でお知らせ予定です。

A) 実施方法（Web受験・郵送受験方式は試験期間中ならいつでもご自宅で受験できます）

Web受験方式

- ・自宅から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- ・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能）
- ・科目ごとに「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の併用式）」のいずれかの形式で出題されます。
- ・択一式問題・選択肢をクリックすることで解答します。
- ・記述式問題・解答記入欄に文字を入力することで解答します。

郵送受験方式（下記3科目のみ）

※「正多面体と素数（'21）」、「日本美術史の近代とその外部（'18）」、「量子化学（'19）」は「郵送受験方式」のみ

- ・7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で提出します。
- ・試験時間の制限は行いません。
- ・出題形式は「記述式」または「併用式」です。

B) 試験日程

Web受験方式(試験期間): 2022年7月15日(金) 9:00～7月26日(火) 17:00

郵送受験方式(試験期間): 2022年7月15日(金)～7月26日(火)《必着》

C) Web単位認定試験体験版について

現在、Web単位認定試験システム体験版が利用可能です。

実際の試験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する端末から、2022年第1学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

アクセス方法

- ① **システムWAKABA** (<https://WWW.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>) にログインID・パスワードを入力してログインします。*1・*2・*3
- ② システムWAKABAのTOP画面右側、「学内リンク」から「**Web単位認定試験**」をクリックします。
*1 初回ログイン時のログインID・パスワードは、入金確認後20日程度で送付される入学許可書(圧着はがき)に記載されています。初回ログイン時は必ずパスワード変更を行ってください。
*2 システムの不正使用を防ぐため、初期パスワードのまま一定期間経過した方は、ログインできなくなっています。
*3 パスワードを忘れてしまった場合など、ログインできない方は、学習センター、学生サポートセンター(電話:043-276-5111)、教務課教務係(メール:kyomuka@ouj.ac.jp)のいずれかまでご連絡ください。

操作の流れ

①科目選択	・「科目一覧」から、「単位認定試験体験版」をクリックします。 ・在籍中の方は、学期初回のみ、「 私を受講登録する 」をクリックします。	
②受験開始	・「 単位認定試験【択一式】 」「 単位認定試験【記述式】 」「 単位認定試験【併用式】 」から、練習したい出題形式のものをクリックします。 ・注意事項を確認の上、「 問題を受験する 」をクリックして、受験を開始します。 *一度受験を開始すると、制限時間のカウントダウンが始まり、 受験を中断しても、制限時間のカウントダウンは止まりません。	
③解答作成	択一式問題 問題文と選択肢がセットで表示され、 選択肢をクリック することで解答を作成します。	記述式問題 問題文と選択肢がセットで表示され、 解答記入欄に文字入力 することで解答を作成します。
④保存・確認	・解答作成が終わったら、「 保存して次へ 」をクリックして解答内容を保存し、確認画面で解答状態を確認します。 *「 保存して次へ 」を押さずに解答作成画面を離れると、それまでの回答内容が失われる場合があるのでご注意ください。(制限時間が経過した場合を除く) ・解答を修正する場合は、「 受験に戻る 」をクリックして解答作成画面に戻ります。	
⑤解答提出	・確認画面で解答状態を確認し、問題がなければ、「 すべての解答を送信して終了する 」ボタンをクリックし、解答を提出します。 *「 すべての解答を送信して終了する 」を押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答内容が自動提出されます。 *体験版は、何度でも解答できますが、本番の単位認定試験は一度しか解答提出できませんのでご注意ください。	

※詳細な操作方法は、Web単位認定試験システム体験版画面左側「操作ガイド」をクリックして確認できる操作ガイドをご確認ください。

推奨環境

《パソコンの推奨環境》

【OS】Windows8.1・10、macOS (最新から2バージョン前まで)

【ブラウザ】Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari

※モバイル端末 (タブレットやスマートフォン) も基本的にはご利用可能ですが、文字の大きさやレイアウトが機種によって異なるため、必ず受験予定の端末で体験版を操作し、解答提出が可能かご確認ください。

D) 自宅等でのWeb受験が困難な場合【要申請】

2022年度第1学期単位認定試験において、「Web受験方式」の科目について自宅等にWeb受験できる環境がない、またはパソコン等の操作が困難等の事情により自宅等でのWeb受験が困難な場合は、下記①をご覧ください、申請してください。

ただし、「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、以下をご理解いただいた上で申請してください。

- ◆「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時限に受験する必要があります。
- ◆学習センター等で受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。(記述式の解答のみ解答用紙)
- ◆「郵送受験方式」の科目については、パソコン等は使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。

※各学習センター等の受け入れ可能人数を超える数の申請があった場合には、個別に学習センター受験日時の調整をお願いすることがございます。

①学習センター受験申請

上記のことを踏まえ、2022年度第1学期単位認定試験について、学習センター等での受験を希望する場合は、必ず下記申請様式にご記入の上、申請期間内に郵送により申請してください。

申請様式 学習センター受験申請書 (2022年度第1学期の印刷教材等に同封します※)

※印刷教材の発送がない方の場合「学生生活の栞」等に同封します

申請期間 2022年4月1日(金)～2022年5月23日(月)《必着》

②学習センター受験者対象のWeb単位認定試験操作体験会 (事前予約制)

2022年第1学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行っていただくこととしておりますが、原則として「学習センター受験者」の学生を対象として、事前予約制により下記のとおり長野学習センターで操作体験会を開催いたします。

詳細は、「学習センター受験申請書」を提出いただいた方に対し、随時、学務部学務課単位認定試験係または長野学習センターからご案内を送付いたしますので、ご確認ください。

日 時	場 所	定 員	備 考
6月17日(金) 10:00～(1時間程度)	講義室	15名	要予約
6月17日(金) 14:00～(1時間程度)	講義室	15名	//
6月18日(土) 10:00～(1時間程度)	講義室	15名	//

* 各種証明書の発行について *

各種証明書の発行については、学習センターで行っています。証明書が必要な方は、『学生生活の栞』教養学部(100P～102P)・大学院(92P～94P)の当該ページを参照し手続きしてください。

1. 発行手続き

原則として、郵送にて請求してください。以下の①～③を学習センターへ送付してください。

- ①「諸証明書交付願」に所要事項を記入したもの
- ② 発行手数料(1通につき200円)・・・現金又は郵便小為替(相当額の切手を送られても、受理できませんのでご注意ください。)
- ③ 返信用封筒(長形3号切手貼付(証明書1通の場合84円、2通以上もしくは「学力に関する証明」の場合94円)、あて名明記のこと)

2. 発行に要する日数

学習センターで「諸証明書交付願」を受理後通常1～3日程度かかります。

以下の証明書等については2週間程度かかりますので、余裕をもって請求してください。

発行に2週間程度要する証明書等

- 教員免許状申請用の単位修得証明書(学力に関する証明書)
- 資格関係の単位修得証明書
- 大学院受験のための調査書
- 大学院博士後期課程受験のための調査書

3. 留意事項

「教員免許状申請用単位修得証明書」を請求する場合は、以下の事項に留意し請求してください。

- (1)「諸証明書交付願」は2種類あります。「証明書の種類」欄に、『教員免許状申請用証明書』と記載のある方をご利用ください。
- (2) 利用の目的欄に、所持免許(例:高校1種国語)・申請免許(例:高校専修国語)・在職年数・提出先の教育委員会を必ず記入してください。免許の種類ごとに証明書を発行します。
なお、免許状に関するお問い合わせは、申請先の県教育委員会へお願いします。



* 学習センターの図書業務の取り扱いについて *

学習センターにおける図書業務の取り扱いにつきましては、下記のとおりです。

なお、図書館利用につきましては、放送大学ホームページの「放送大学附属図書館」 → 「図書館を使う」 を参照願います。

記

- 1 平成31年4月以降、学習センターが所蔵する図書の貸出は終了し、放送大学附属図書館所有図書の貸出は附属図書館が一括して行っています。
- 2 放送大学附属図書館で行う図書貸出し方法については、従来からの「学習センターが取次ぎをする方法」と「附属図書館から学生の自宅へ配送する方法」の2パターンです。
- 3 学習センターは、放送大学附属図書館等から取り寄せた図書を学生に貸し出す業務を行います。

なお、現在コロナ禍での対応ですので、人と人との対応を極力減らし、感染拡大を防ぐため、「附属図書館から学生の自宅へ配送する方法」での対応を、極力お願いいたします。

* システムWAKABA初期パスワードの変更について *

システムWAKABAの初期パスワードを変更されていない学生の方は、ロックアウトされ、システムにログインできません。

なお、2022年度第1学期新入生で、初期パスワードから変更されていない方は、システムWAKABAにログイン、またはこちらのURL (<https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>) から、パスワードの変更をお願いいたします。再入学等の学生でパスワード変更を行っていない場合は、システムにログインできない場合があります。ログインできない場合は、以下の【問い合わせ先】までご連絡ください。

【問い合わせ先】

- ・学生サポートセンター（電話:043-276-5111）
- ・教務課教務係（e-mail:kyomuka@ouj.ac.jp）
- ・学習センター（対面、電話:0266-58-2332）

本人確認の上、初期パスワードに設定いたしますので、速やかにシステムWAKABAにログインの上、パスワードの変更を行ってください。なお、翌朝6時までにパスワードを変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

※e-mailでのお問い合わせに対する返信には数日かかる場合があります。なお、一度e-mailでお問い合わせをされた方は、電話でのお問い合わせはご遠慮ください。



* 教員・職員紹介 *

長野学習センターでは、下記の体制でお待ちしております。

事務手続き等でお会いする機会もあると思いますので、よろしくお願いいたします。

所 長 大塚 勉 客員教員 高田 啓介 客員教員 柳町 晴美
客員教員 勝木 明夫 客員教員 古屋 顯一

事務長 宮坂 事務職員 細井 事務職員 市岡 事務職員 山崎
事務職員 唐澤 事務職員 池上 事務職員 河西

* コロナ感染症に伴う長野学習センターの利用について *

開所時間

午前9時30分～12時、午後1時～5時30分（12時から午後1時の間は事務室を含めすべて閉所）

利用できる施設

事務室窓口、図書・視聴室

※長野学習センター所属の学生に限ります。

※ただし、三密を回避するため、図書・視聴室利用は入室を制限します。

※窓口に複数が並ばないように、お一人ずつ対応が終わり次第、呼びいたします。

閉所日

毎週月曜日・国民の祝日に関する法律に定める祝日・休日、年末年始（12月29日～1月3日）

学長又は所長が特に必要と認めた日

（長野学習センターHPのセンタースケジュール等で確認願います。）

利用に関する注意

- ①発熱やせきなど、体調不良の方は入館できません。事前に検温を行ってからお越しください。
- ②必ずマスクを着用してください。
- ③必ず入館前後に手洗いをしてください。
- ④館内での飲食はできません。
- ⑤利用禁止の場所は使わないでください。
- ⑥窓口にある入館者記録票へ記入してください。

その他

火曜日のみ、駅交番側のエレベーターで3階へお越しください。

（火曜日は店舗側エレベーター、エスカレーター等は休止しています。）

なお、自治体の判断やその他の事象に基づき、予告なく閉鎖となる場合もあることをご了解ください。

放送大学・長野学習センターからは、随時新型コロナウイルスに係るお知らせ等がホームページに掲載されますので、ご留意願います。